

地域資源活用して活性化 「地域未来ビジョン」策定へ

第1回 有識者会合開く

ついて、さまざま意見が出された。

同会議はデジタルや情報発信、建築・都市デザイン、観光構成。座長を村橋克則・大正大(東京教授が務める。



ビジョン」(仮称)の策定を計画する。企業や団体、個人が集まつた「地域活性化協議会(仮称)」を組織し、協議会の中で地域振興策を盛り込んだビジョンの内容を検討する。

交流・学び・周遊」をキーワードとし、「市内外の多様な主体を巻き込んだまちづくり」を掲げる。アドバイザリー会議では委員から、「交流や連携を行う相手を絞り込んで対応すべき」「推し」を決めて展開しては、などの意見が出た。また「計画は綿密に作り込まねばならないが、初めから高い目標を掲げるべきではない」「行政以外の媒体を活用し

市は昨年度、「地域資源活用調査」を実施して市内各地に点在する地域資源の価値や有用性を洗い出した。これを受けて協議会を立ち上げ、ビジョンを策定する。

徳永製菓6月の新作 「燻ゆりピスタ」発売 中元商品もそろう

ど製造の徳永製菓株(福山市胡町四丁二二)は、6月の新作商品「燻ゆり(ピスター)」を直営の豆徳本店(同)などでの販売している。

市は7月中旬から8月にかけて市内五ヵ所ほどでビジョン策定に関する説明会を開催その後勉強会やワーケーションを実施した上で、協議会のメンバーを募る。協議会は複数立ち上げることも想定、その場合はそれぞれの協議会でビジョンを策定する。協議会にはアドバイザリー会議が随時助言を与える。

早ければ来年3月にもビジョンを策定。それに沿って地域活性化策を実行していく

商品で、米国産の殻付きピストチオを三原市産の山桜のチップで薰製した。スモーキーな香りと、ほのかな甘い香りが特徴。温度や煙の量などを細かく確認しながら、じっくり丁寧に薰製した逸品。「いつまでもまめに暮らせますように」との願いを込めた中元商品各種もそろえていた。数量限定の特別な詰め合せ「夏花かりん」や豆德商品の詰め合わせ「夏だより」などがある。

「いつもお世話になつてい
る方、普段なかなか会えな
い人への大切な贈り物に利用し
てください」と同社。

が、同市の制度「ふくやまワーカー・ライフ・バランス認定」を受けている企業を優先す

企業はブースを出店し、企業情報や業務内容などを説明する。終日参加が条件で、参加費は八〇〇円。市ホーカーの専用サイトから申し込み込む。申し込み多数の場合は抽選。出展企業は7月初旬に発表する。また求職者の参加申し込みは、7月中旬から受け付ける。

問 同市産業振興課☎0849・1040

中途採用向け企業説明会 福山市が参加企業募集中

22